

# 講演内容

## 講演 1

### HAMLOGおよびhQSLの活用について

HAMLOG・hQSL 製作者  
JG1MOU 浜田 博 様

#### 講演の概要

HAMLOGおよびhQSLについて解説します。

現在HAMLOGユーザーは約17,000局、hQSLユーザーは約5,700局を数えます。

人気のモードFT-8ではJT-Get'sによりHAMLOGとWSJT-XやJTDXとの親和性が向上します。

## 講演 2

### 空間多重とアレーアンテナの適応ビーム制御：ノイズキャンセラへの応用は可能！

福岡大学 工学部 電子情報工学科  
JH6VJM 太郎丸 真 教授

#### 講演の概要

皆さん、ここ10~20年で妙なノイズや正体不明のキャリアがHF~VHF帯で増えたと思いませんか？ いまやアマチュア局はI(干渉/混信/妨害)を与える側よりも、近隣からのノイズにさらされる「被害者」となっています。最近のCQ誌記事や当局自身のノイズ環境から見て、今後も問題となるノイズ源は「太陽光発電」「エネファーム(家庭用燃料電池)」「蓄電池設備」だと思います。本講演では、当局で測定したエネファームや太陽光発電設備が発するノイズを示し、コア挿入等の対策で多少マシになった？効果を示します。また市販品やユーザレポートでも見られる「ノイズキャンセラ」と、携帯電話や無線LANで実用化されているアレーアンテナのビーム制御の共通原理について述べ、HF上位機での外付け回路無しでの自動調整ノイズキャンセラの可能性と期待を述べます。